

NIC Autotec<sup>®</sup>, Inc.



第 52 期

# 定時株主総会 参考資料

52th Ordinary General meeting of shareholders

エヌアイシ・オートテック株式会社

2023年 6月 24日

立山第1市場



# Contents 目次

1	連結経営指標等の推移	3
2	当社経営指標等の推移	4
3	業績推移 — 売上高・親会社株主に帰属する当期純利益 —	5
3	業績推移 — 純資産/総資産 —	6
3	業績推移 — 1株当たり純資産額・1株当たり当期純利益 —	7
4	セグメント別売上高の状況	8
5	連結財務諸表	9
6	財政状態の分析	10
7	経営成績の分析〔連結損益計算書（2022年4月1日から2023年3月31日まで）〕	11
8	会社概要	12
9	沿革	13
10	3つの事業部門	14
11	国内事業拠点	15
○	本資料について	16

回次		第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
決算年月		2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月
売上高	(千円)	8,715,190	6,614,552	6,649,521	7,432,884	6,661,561
経常利益又は経常損失(△)	(千円)	746,710	176,938	220,688	267,925	△93,232
親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	(千円)	492,371	100,433	136,355	248,846	△133,968
包括利益	(千円)	428,516	44,884	209,309	228,068	△144,476
純資産額	(千円)	4,831,497	4,643,482	4,634,829	4,639,506	4,271,640
総資産額	(千円)	8,203,116	7,431,294	8,138,653	8,713,210	7,940,825
1株当たり純資産額	(円)	886.69	852.21	850.64	851.50	783.98
1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)	(円)	90.36	18.43	25.02	45.67	△24.58
自己資本比率	(%)	58.9	62.5	56.9	53.2	53.8
自己資本利益率	(%)	10.4	2.1	2.9	5.4	—
株価収益率	(倍)	8.9	43.4	35.6	17.8	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	612,256	390,388	1,140,862	△51,628	276,453
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	△231,933	△512,404	△163,119	△1,179,210	△150,564
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	△304,511	175,429	△188,708	398,528	△323,432
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)	617,831	671,945	1,461,114	636,690	444,113
従業員数〔外、平均臨時雇用者数〕	(名)	251〔36〕	254〔35〕	255〔32〕	242〔36〕	240〔36〕

(注) 1. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第51期の期首から適用しており、第51期に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を適用した後の指標等となっております。

2. 従業員数欄の〔外書〕は、臨時従業員の年間平均雇用人員(1日8時間換算)であります。

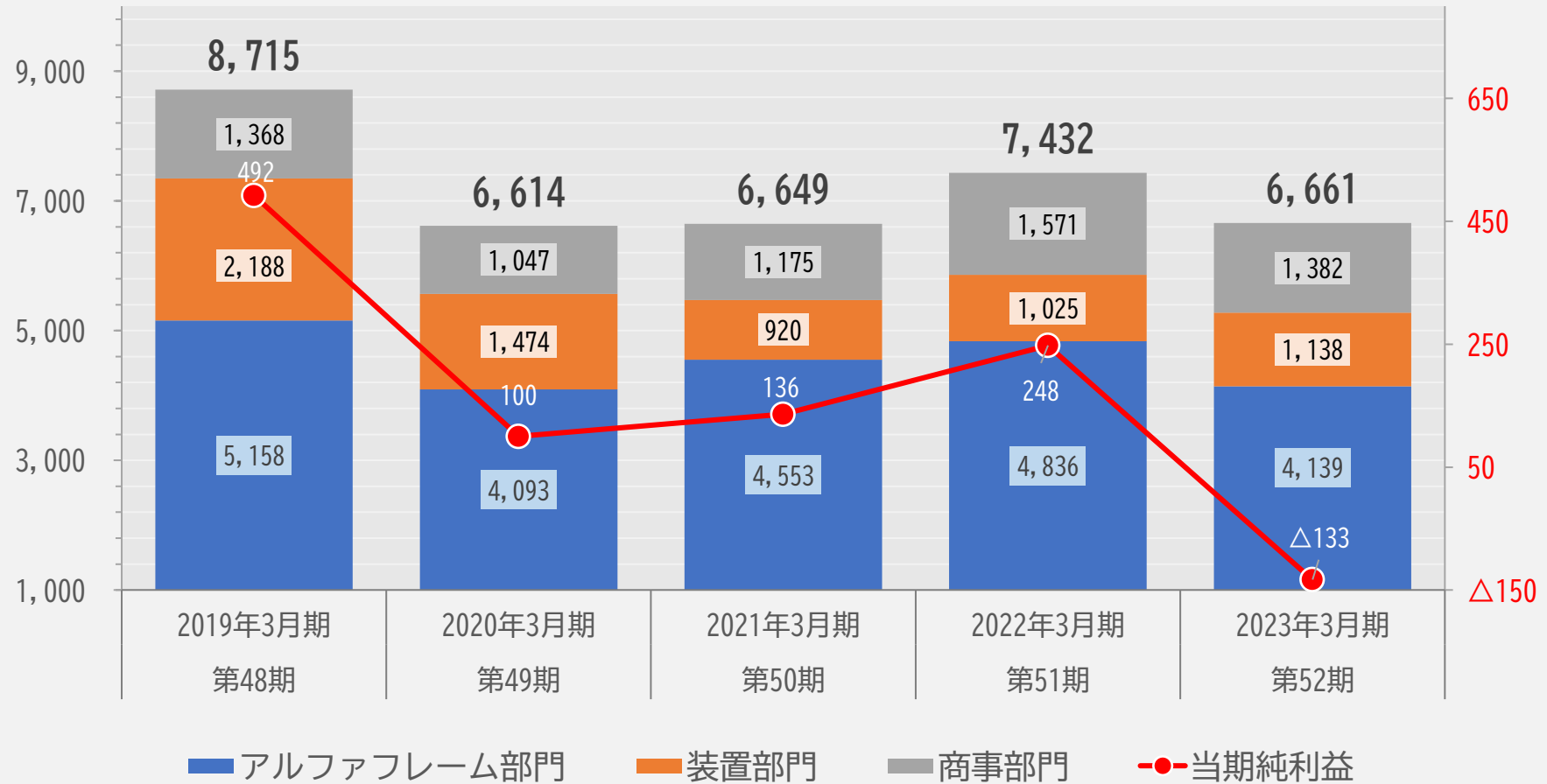
3. 第52期の自己資本利益率及び株価収益率については、親会社株主に帰属する当期純損失であるため記載しておりません。

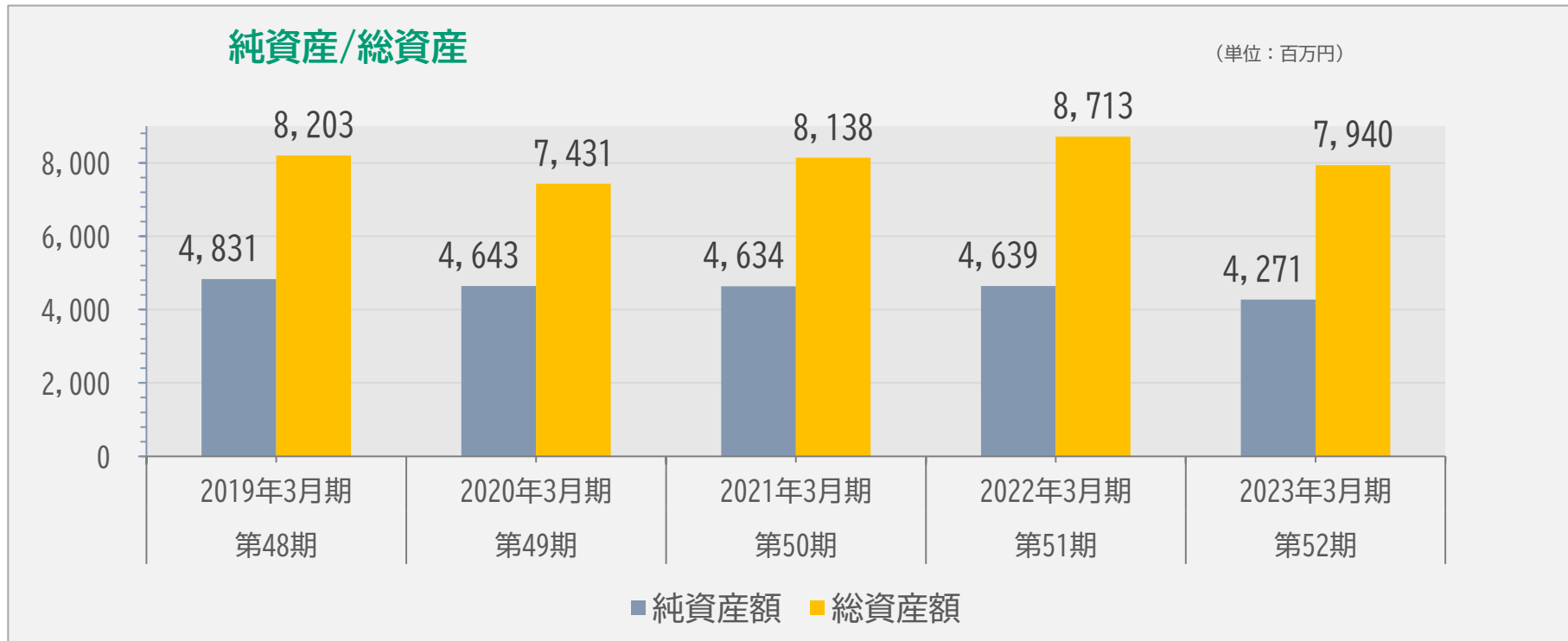
回次		第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
決算年月		2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月
売上高	(千円)	8,683,344	6,567,071	6,620,076	7,354,847	6,661,561
経常利益	(千円)	812,257	227,139	266,543	272,062	△112,231
当期純利益	(千円)	468,594	150,079	182,326	161,806	△158,352
資本金	(千円)	156,100	156,100	156,100	156,100	156,100
発行済株式総数	(株)	5,500,000	5,500,000	5,500,000	5,500,000	5,500,000
純資産額	(千円)	4,828,272	4,715,034	4,744,778	4,660,475	4,271,682
総資産額	(千円)	8,183,886	7,483,572	8,218,131	8,733,404	7,940,864
1株当たり純資産額	(円)	886.14	865.36	870.83	855.36	784.00
1株当たり配当額(内、1株あたり中間配当額)	(円)	39(19)	39(19)	41(20)	41(20)	41(20)
1株当たり当期純利益	(円)	86.00	27.54	33.46	29.69	△29.06
自己資本比率	(%)	59.0	63.0	57.7	53.4	53.8
自己資本利益率	(%)	9.9	3.1	3.9	3.4	—
株価収益率	(倍)	9.3	29.0	26.6	27.4	—
配当性向	(%)	45.3	141.6	122.5	138.1	—
従業員数〔外、平均臨時雇用者数〕	(名)	242〔36〕	242〔35〕	244〔32〕	242〔36〕	240〔36〕

- (注) 1. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第51期の期首から適用しており、第51期に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を適用した後の指標等となっております。
2. 従業員数欄の〔外書〕は、臨時従業員の年間平均雇用人員(1日8時間換算)であります。
3. 第52期の自己資本利益率、株価収益率及び配当性向については、当期純損失であるため記載しておりません。

## 連結業績推移（セグメント別）

（単位：百万円）





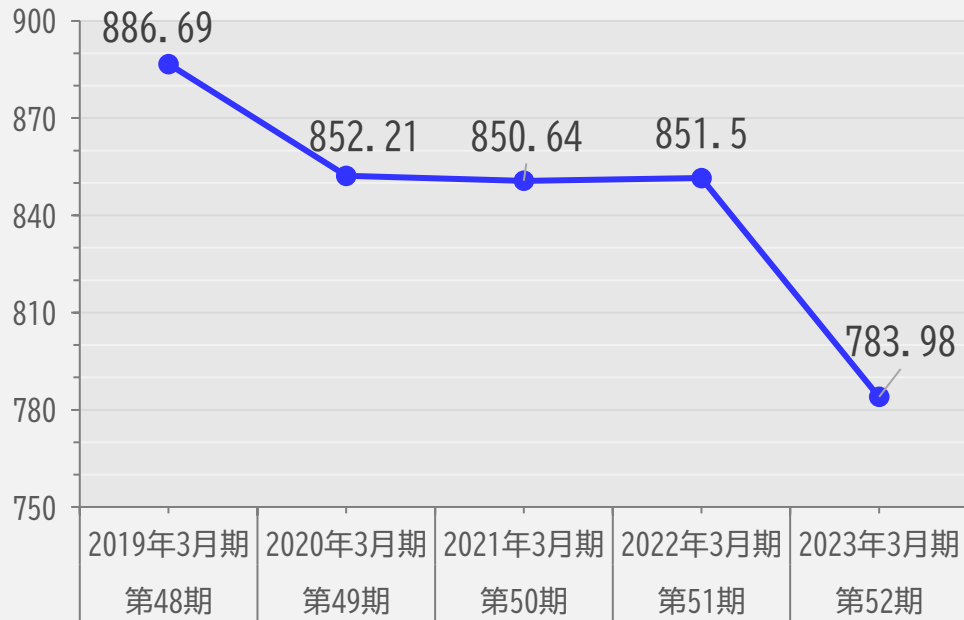
## ■ 財政状態の分析

当連結会計年度末における総資産は、前期末と比べ772百万円減少し、7,940百万円となり、負債合計は、前期末と比べ404百万円減少し、3,669百万円となりました。正味運転資本（流動資産から流動負債を控除した金額）は1,838百万円であり、流動比率は197.9%であります。

なお、当連結会計年度末の純資産合計は、前期末と比べ367百万円減少し、4,271百万円となりました。自己資本比率は53.8%となっております。

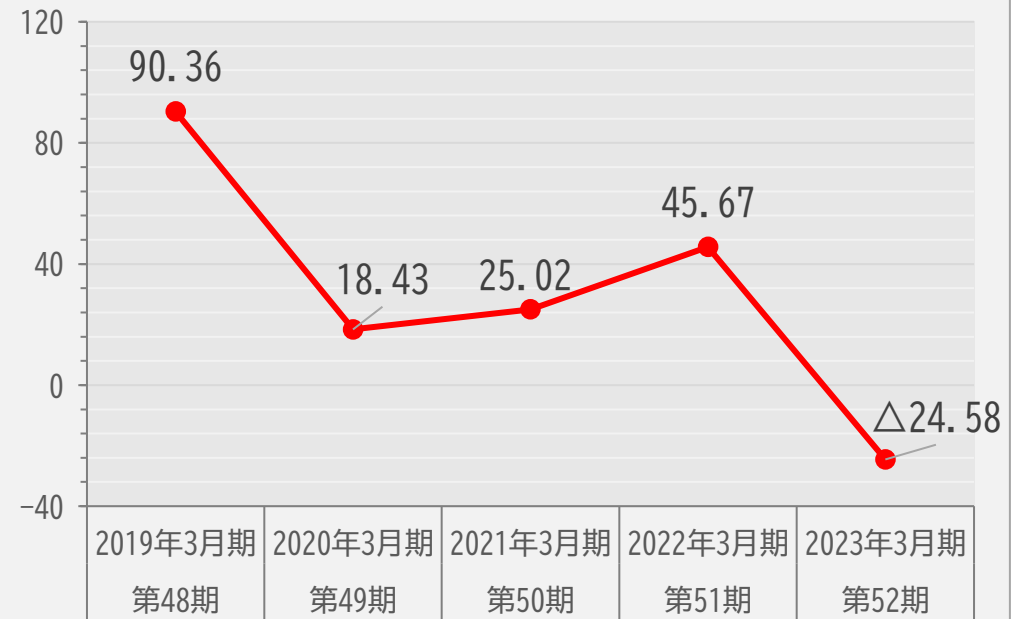
## 1株当たり純資産額

(単位：円)



## 1株当たり当期純利益

(単位：円)





## アルファフレーム部門

アルファフレーム部門におきましては、一般顧客向けの販売において、自動車部品関連業界の設備投資が差し控えられている中、差別化を図った提案営業活動により安定的な受注を確保いたしました。しかし、経済活動再開に伴う巣ごもり特需の反動や、物価上昇による消費マインドの冷え込み等の傾向を背景に、これらに関連する設備の投資計画が一時的に先延ばしとなったことなどによって、売上高は前年を下回る状況となりました。

この結果、当部門の売上高は4,139百万円（前期比85.6%）となりました。



## 装置部門

装置部門におきましては、各種機器・部品等の調達環境が徐々に改善されたことにより、生産ライン設備及び大型構造物案件等を複数受注したことにより売上高は伸長いたしました。

この結果、当部門の売上高は1,138百万円（前期比111.0%）となりました。



## 商事部門

商事部門におきましては、主要顧客各社ともに消耗品や治工具類の需要が安定しており、これらの売上高は堅調に推移しましたが、機械設備関係については複数の大型案件を受注したものの、前年の水準までには至らない状況となりました。

この結果、当部門の売上高は1,382百万円（前期比88.0%）となりました。



## ● 連結貸借対照表

(2023年3月31日現在)

科目	金額 (千円)
<b>資産の部</b>	
流動資産	3,717,542
固定資産	4,223,283
有形固定資産	3,742,822
無形固定資産	27,709
投資その他の資産	452,751
<b>資産合計</b>	<b>7,940,825</b>
<b>負債の部</b>	
流動負債	1,878,957
固定負債	3,669,184
<b>負債合計</b>	<b>3,669,184</b>
<b>純資産の部</b>	
株主資本	4,211,785
資本金	156,100
資本剰余金	145,636
利益剰余金	3,944,840
自己株式	△34,791
その他の包括利益累計額	59,819
非支配株主持分	36
<b>純資産合計</b>	<b>4,271,640</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>7,940,825</b>

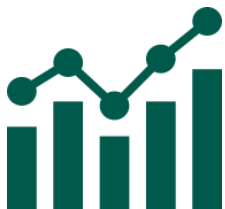
## ● 連結損益計算書

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

科目	金額 (千円)
売上高	6,661,561
売上原価	5,552,297
売上総利益	1,109,264
販売費及び一般管理費	1,232,412
営業損失	123,148
営業外収益	37,619
営業外費用	7,703
経常損失	93,232
税金等調整前当期純損失	93,232
法人税等	40,735
当期純損失	133,968
非支配株主に帰属する当期純損失	△0
親会社株主に帰属する当期純損失	133,968



<b>流 動 資 産</b>	<p>当連結会計年度末における流動資産の残高は、前年度末と比べ618百万円減少し、3,717百万円となりました。これは主に、商品及び製品が55百万円、原材料及び貯蔵品が112百万円、それぞれ増加した一方で、現金及び預金が192百万円、受取手形が65百万円、売掛金が183百万円、電子記録債権が80百万円、仕掛品が251百万円、それぞれ減少したことなどによります。</p>
<b>固 定 資 産</b>	<p>当連結会計年度末における固定資産の残高は、前年度末と比べ153百万円減少し、4,223百万円となりました。これは主に、新工場稼働により、建物（純額）が740百万円、土地が177百万円、それぞれ増加した一方で、建設仮勘定が1,041百万円減少したことなどによります。</p>
<b>流 動 負 債</b>	<p>当連結会計年度末における流動負債の残高は、前年度末と比べ206百万円減少し、1,878百万円となりました。これは主に、短期借入金が150百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が258百万円、電子記録債務が87百万円、それぞれ減少したことなどによります。</p>
<b>固 定 負 債</b>	<p>当連結会計年度末における固定負債の残高は、前年度末と比べ198百万円減少し、1,790百万円となりました。これは主に、長期借入金が197百万円減少したことなどによります。</p>
<b>純 資 産</b>	<p>当連結会計年度末における純資産は、前期末と比べ367百万円減少し、4,271百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純損失の計上133百万円及び配当金の支払い223百万円があったことにより、利益剰余金が357百万円減少したことなどによります。</p>

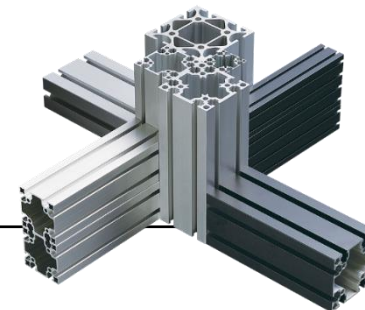


<p>売上高</p>	<p>アルファフレーム部門におきましては、一般顧客向けの販売において、競合他社との差別化を図った提案営業活動により安定的な受注を確保いたしました。また、2022年10月より「アルファフレームシステム」の販売価格の引き上げを初めて実施いたしました。しかし、経済活動再開に伴う巣ごもり特需の反動や、物価上昇による消費マインドの冷え込み等の傾向を背景に、これらに関連する設備の投資計画が一時的に先延ばしとなったことなどによって、売上高は前年を下回る状況となりました。</p> <p>装置部門におきましては、各種機器・部品等の調達環境が徐々に改善されたことにより、生産ライン設備及び大型構造物案件等を複数受注したことにより、売上高は伸長いたしました。商事部門におきましては、主要顧客各社ともに消耗品や治工具類の需要が安定しており、これらの売上高は堅調に推移しましたが、機械設備関係については複数の大型案件を受注したものの、前年の水準までには至らない状況となりました。</p> <p>これらの結果、売上高は6,661百万円（前期比89.6%）となりました。</p>
<p>売上総利益</p>	<p>当連結会計年度は、継続的に製造原価低減に向けた生産体制の見直しに取り組んでまいりましたが、物流逼迫の影響による代替部品調達コストの増加や積極的な設備投資に伴う減価償却費の増加に加え、原材料価格の高止まりによる製造原価への影響は極めて大きく、利益確保が厳しい状況となり、売上総利益は1,109百万円（前期比75.0%）となりました。</p>
<p>販売費及び一般管理費</p>	<p>COVID-19の影響による活動制限が徐々に緩和され、積極的な営業活動を推進した結果、1,232百万円（前期比100.8%）となりました。</p>
<p>営業損失 経常損失 親会社株主に帰属する 当期純損失</p>	<p>当連結会計年度は、売上高の減少に売上原価の増加が重なり、販売費及び一般管理費は微増となったことから、営業損失が123百万円、経常損失が93百万円となりました。また、繰延税金資産の回収可能性の見直し等により、法人税等調整額を38百万円計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失が133百万円となりました。</p>





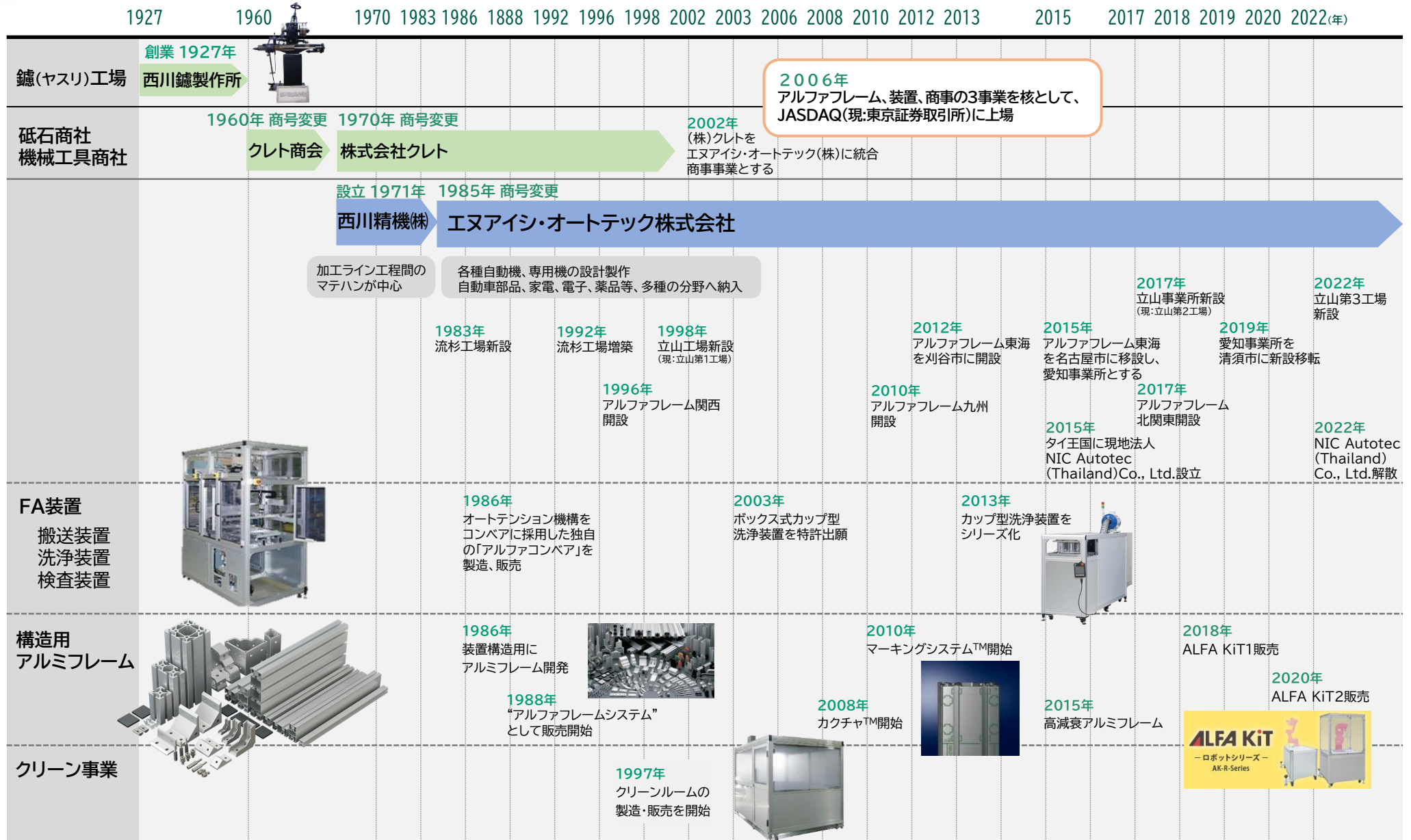
**NIC Autotec, Inc.**  
**エヌアイシ・オートテック株式会社**



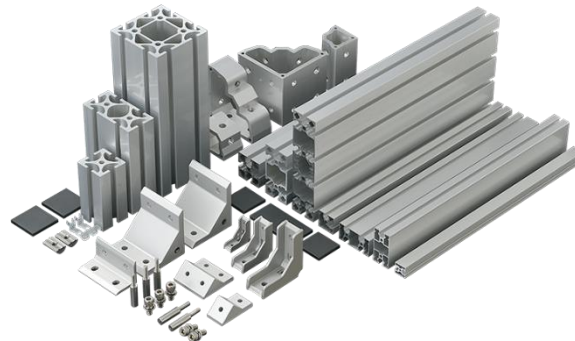
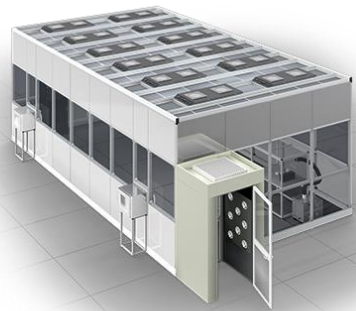
創 業	1927年4月（昭和2年）
設 立	1971年5月17日（昭和46年）
代 表 者	代表取締役会長兼社長CEO 西川 浩司
本 社 所 在 地	富山県富山市流杉255番地
東 京 本 社	東京都江東区有明三丁目7番26号 有明フロンティアビル B棟 11階
資 本 金	156,100千円（2023年3月31日現在）
従 業 員 数	240名（2023年3月31日現在）
平 均 年 齢	38.7歳（2023年3月31日現在）



創業当時の「ヤスリ目立て機」  
 1927年4月西川鑪製作所を設立  
 鑪(やすり)製造および加工を行う



## アルミ製構造部材から高度な自動化装置さらにはクリーンルームの 製造・販売までの一貫体制



**ALFA FRAME SYSTEM**



### 装置部門

特定の業界に依存しない  
業務体系  
先端技術力を持つ企業  
から積極的受注体制



### アルファフレーム部門

経験豊富なCAD設計陣による  
技術設計支援・サービス  
豊富な製品群“1500以上”に  
よる多彩なシステムの提供



### 商事部門

「メーカー機能」を活用した  
設備の導入提案営業  
工業用砥石を中心とした  
工業生産財の提供





**富山本社/流杉工場**  
富山県富山市流杉255



**立山第1工場/開発センター**  
富山県中新川郡立山町塚越398-176



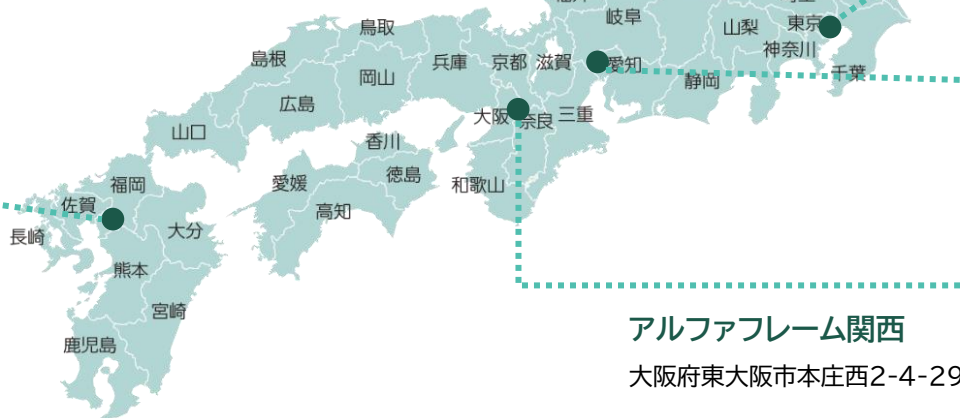
**立山第2工場**  
富山県中新川郡立山町前沢2178-1



**立山第3工場**  
富山県中新川郡立山町利田161



**アルファフレーム九州**  
福岡県大牟田市四箇新町1-2



**アルファフレーム関西**  
大阪府東大阪市本庄西2-4-29



**アルファフレーム北関東**  
埼玉県児玉郡神川町元阿保309



**東京本社**(登記上東京支店)  
東京都江東区有明3-7-26  
有明フロンティアビルB棟11階



**愛知事業所**  
愛知県清須市清洲田中町167

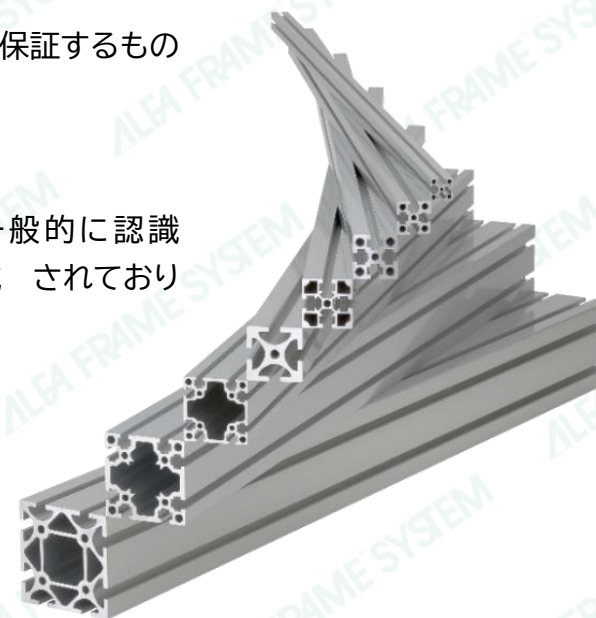
# 本資料について

- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。  
本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想並びに記載された内容は、本資料作成日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本資料に対するお問合せは、以下へお願い申し上げます。

<エヌアイシ・オートテック株式会社 管理部>

TEL: 076-425-0738 FAX: 076-422-2712

Mail: [ir@nic-inc.co.jp](mailto:ir@nic-inc.co.jp) URL: <https://www.nic-inc.co.jp/>



## エヌアイシ・オートテック株式会社

□富山本社/流杉工場	〒939-8032 富山県富山市流杉255	TEL:076-425-0738
□東京本社	〒135-0063 東京都江東区有明3-7-26 有明フロンティアビルB棟11F	TEL:03-5530-8060

★ご注意 著作権 © NIC AUTOTEC, INC.

WARNING : All Rights Reserved . Unauthorized duplication is a violation of applicable laws.

本資料を権利者の許諾なく無断複製、改変、頒布、翻訳などに使用することは、著作権上、禁じられています。

産業財産権 NIC AUTOTEC, INC . ALFA CLEAN BOOTH & SYSTEM, ALFA FRAME SYSTEMの主要な構成部品は特許、実用新案、意匠権など産業財産権により保護されております。